

番号	7	事業名	県営農村地域防災減災			市町村名	飯山市			路河川名	—	箇所名(ふりがな)	岡山(おかやま)		
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>&lt;ため池2箇所&gt; 本地区のため池は、ともに明治時代に築造され、13.6haの水田をかんがいでいる。 (羽広山堤1885年築造、下境新堤1887年築造) <b>堤体から漏水があり、放置すると決壊の危険性がある。</b> 洪水吐の断面が小さく、豪雨時に洪水流量を安全に流せない。(下境新堤) &lt;用水路4箇所&gt; 山腹水路のため、山側斜面から土砂が流入し、用水路からの溢水により崩落が発生している。</p>										②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価	
	<p>&lt;用水路&gt; 土留工として計画していたブロック積をポリエチレン材擁壁に変更したことにより、現場発生土を埋戻し材として使用でき、環境への負荷を軽減した。</p>											B			
事業目的	ため池及び用水路を改修し、下流の <b>農地及び集落の被害防止と農業用水の安定供給を図る。</b>										③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価	
事業概要	当初工期	H22~H26	費用対効果(当初時)	2.08	事業費(千円)	財源内訳(千円)				④地域住民等の評価		長野県下水内中部土地改良区、行政区(藤沢区、桑名川区)が、毎年草刈りや土砂上げ等の維持管理作業を行っている。		A	
	最終工期	H22~H27	費用対効果(評価時)	2.25	上段:当初/下段:最終( )は国補事業分以内	国庫	その他	県債	一般財源		地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)	評価			
	当初計画内容(主な工種)	ため池改修工 2箇所 用水路工 2,250m		380,000 (380,000)	209,000	60,800	99,000	11,200	<p>&lt;ため池&gt; 1 漏水がなくなったため、下流の住民は安心している。 2 取水施設が改修され、<b>維持管理作業が容易</b>になった。</p> <p>&lt;用水路&gt; 1 水路法面の土留めや蓋の設置により、落ち葉や倒木による水路閉塞がなくなり、<b>溢水被害がなくなった。</b> 2 蓋の設置により、水路を管理道路として利用でき、安心して作業できるようになった。</p>						
	最終事業実績(主な工種)	ため池改修工 2箇所 用水路工 2,483m		352,000 (352,000)	193,600	56,320	91,000	11,080							
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>施工箇所が山間部の厳しい地形条件であったため、施工に想定以上の期間を要し、<b>工期を1年延長</b>した。</p>										改善措置の必要性	特になし			
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>ため池工(羽広山堤)の漏水防止対策として、中心刃金工法をグラウト工法に変更した。用水路工(和水上堰)の法面崩落対策として、ブロック積をポリエチレン材擁壁に変更した。これらにより、<b>28,000千円減額</b>になった。</p>														
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)										評価				
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>&lt;ため池&gt; 1 堤体の改修により、漏水がなくなり、<b>安全性の確保と用水の安定供給が可能</b>となった。 2 洪水吐の改修により、豪雨時に<b>洪水流量を安全に流せる</b>ようになった。</p> <p>&lt;用水路&gt; 浸食が進んでいる法面に土留めを行ったことにより、土砂崩落による用水路閉塞の危険性がなくなり、集落の<b>安全性が確保</b>できた。</p>										A	今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	<p>1 施設管理者の高齢化が進んでいるため、取水施設等の改修に当たっては、<b>安全で操作し易い構造</b>に配慮する。 2 ため池の取水施設を改修したことにより、<b>貯水量の調節が可能</b>になったため、ため池及びため池下流の集落や受益農地等の被害を軽減するための<b>低水位管理</b>ができるよう、土地改良区及び飯山市を含めて検討する。 3 用水の管理を行う長野県下水内中部土地改良区や、行政区により<b>適切な維持管理を継続</b>する。</p>	
間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	<p>&lt;ため池&gt; 老朽化した取水施設を改修したことにより、管理者の<b>維持管理労力が軽減</b>された。</p> <p>&lt;用水路&gt; 法面の土留めや蓋の設置により、管理者の作業時の<b>安全性の確保と維持管理労力の軽減</b>が図られた。</p>										農政部公共事業評価委員会の意見	<p><b>災害防止、用水の安定供給、維持管理労力の軽減</b>が図られており、総合評価Aが妥当と判断する。</p>		総合評価	A
農政部公共事業評価委員会の意見												長野県公共事業評価委員会の意見	農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。		県の評価案
											長野県公共事業評価委員会の意見		農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。		評価監視委員会意見
										長野県公共事業評価委員会の意見		農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。		評価の決定	A